

一般質問

物価高騰に対する
市内の消費喚起策と
市民生活支援策

問 確実に地域内でお金が回るスーパープレミアム商品券、おおむたミライPayといった消費喚起策は有効だが、物

価高騰の影響で、購入者へプレミアム率分の20%が反映されていない。プレミアム率の拡充を検討すべきでは。

答 プレミアム率を上げるのではなく、現在のように全体の発行額を増やすことで多くの個人消費を喚起し、地域経済の下支えを行っている。

問 子育て世代に対する支援は様々行われているが、今後物価高騰による生活の影響は継続すると想定されるため、引き続き、さらなる支援を行わなければならないのでは。

答 物価高騰の状況を勘案しながら、子育て世代への必要な支援を行っていききたい。

問 子育て世代への支援として小中学校及び特別支援学校の給食費に関して、一定期間無償化をすべきと考えるが、市長の見解は。

答 今年度は食材料費の増額分を市が負担することで、給食費の値上げを防いでいる。

また、経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対しては、就学援助により給食費の負担を軽減している。

デジタル推進委員※
活用の検討を

問 スマートフォン等の操作が得意な若い人々をデジタル推進委員制度の対象とし、制度の拡大を検討する必要がある

あると考えるが、市の見解は。

答 本市内の高等教育機関である帝京大学や有明高専の御意見もお伺いしながら検討をしていきたい。

子育て支援の
さらなる充実を

問 妊娠から出産・子育て期までの伴走型支援を行うには、専門職等の人員体制強化が必要と考えるが、市長の見解は。

答 さらなる充実を図るために、どういう形で人員を配置し、どこに力を入れていくの

か、よく検証しながら体制の強化について検討をしていきたい。

健康寿命延伸の取組強化を

問 本市の健康寿命延伸に向けた取組の現状は。

答 地域保健活動、広報・啓発活動、イベントの実施及び特定健康診査の受診勧奨などに取り組んでいる。

今後も、関係機関や団体等と連携しながら、健康寿命延伸に向け、取組を推進したい。

※デジタル推進委員…デジタル大臣により委嘱され、デジタル機器・サービスに不慣れな方等に操作方法等を支援する者。

不登校の予防に重点を
置いた対策

問 不登校予防対策として取り組んでいる具体策は。

答 学校が安心できる場所とするため、分かる授業づくり、

魅力ある学校づくりに取り組み、併せて、体と心を育み、生活習慣を整える上で食育も重要と考える。

問 不登校予防対策には、学校の環境整備の確保を図ることが求められると考えるが、教育長の見解は。

答 様々な要因で登校できない児童生徒に寄り添い、要因を取り除くとともに、魅力ある学校づくりなどに取り組む。

問 早寝早起き朝ご飯運動の取組状況は。

答 学校が主体性を持ち、食

の大事さ、基本的な生活習慣の大切さを含め、生徒・保護者の理解と協力を求めながら取組を進めていく。

問 情操教育として行っている校内花壇の手入れの状況は。

答 確認した際には、いずれの学校も手入れされていた。

問 私が12月に10校確認した際の見解と異なるが、実態は。

答 年間を通した手入れは行われていない。今後は計画的に手入れを行っていききたい。

再発言 情操教育の重要性を理解し、実施されたい。